

事業実績報告書

様式2
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	C-17	講座名	春休み特別企画 長谷川明子先生と学ぶ生物多様性・ビオトープ講座
記載日	2023/3/29	団体名・企業名	東邦ガス株式会社

〈講座全体の概要〉(300字程度)

ガスエネルギー館内での長谷川明子先生の講義の後、同敷地内のビオトープ広場にて実際にビオトープに入って生き物を採取「がさがさ」・観察する体験学習活動を実施し、座学と体験を組み合わせ、生物多様性とビオトープについて理解を深めていただく講座。「がさがさ」体験では、採取したヤゴを4種類に分類・観察し、違いや共通点を確認した。当日の参加社は15名。ビオトープ広場での生き物観察は、池の中での生き物採取と、池の周りでの観察の2班に分けて両方体験できるよう工夫。併せて、参加者間の離隔距離を確保して開催した



※写真1の説明

2023年3月28日 ガスエネルギー館にて、長谷川明子先生の講義を聴く参加者

※写真2の説明

2023年3月28日 ガスエネルギー館ビオトープ広場の池でヤゴを捕獲

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

本講座は、ビオトープネットワーク中部会長の長谷川先生をお招きし、座学や生き物探し体験を通じて参加者の興味を喚起しながら進んでいただいた。アンケートからは、特に「がさがさ」によって、ヤゴを自分達で捕まえ、4種類に分類して、共通点や、違いを観察するのが、楽しかったとの評価であり、満足度は非常に高かった。知識だけでなく、実体験を交えたプログラムとすることが重要だとの思いを改めて感じた。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

- ・実際にやごを捕まえるのが楽しかった。
- ・池の中の生物も豊富だった。
- ・実際に自らの手足で体験できた。
- ・色々な体験をすることができとても楽しかった。
- ・先生の解説が丁寧でわかりやすくよかった。(多数)
- ・内容が自分のレベルに合っていた。

〈参加15名のうち、満足13名、やや満足2名と、総じて満足度が高かった。〉